研究課題名

「　術後早期の透析シャント不全に対する血管内治療についての後ろ向き研究　」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H29中倫小第68号）

研究実施についてのお知らせ

沖縄県立中部病院　放射線科では、術後早期の透析シャント不全に対する血管内治療についての後ろ向き研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成29年12月14日

【研究課題名】

術後早期の透析シャント不全に対する血管内治療についての後ろ向き研究

【研究期間】

2011年7月から2018年12月

【調査対象】

2011年7月から2016年9月の間に、沖縄県立中部病院で、透析シャント動静脈瘻作成術後の発達不良もしくは術後３ヵ月以内に透析不全陥った18歳以上の患者さん

【研究目的・意義】

透析シャント動静脈瘻作成術後の発達不良と早期透析不全の患者さんに対して、血管相治療の有用性と予後予測・危険因子を明らかにします。

【研究の方法】

カルテ・電子カルテに記載のある診療情報の調査をおこないます。この調査において患者さまに新た検査をお願いすることや診療費が発生することはありません。

術後早期（３ヵ月以内）に透析シャント不全もしくは発達不良で維持透析が困難となった患者さまに対し血管内治療を行い、その治療成績（成功率、遠隔期の機能的開在率）と予後予測・危険因子を多変量解析により明らかにします。

調査内容は、

患者さんの基礎情報（年齢,性別）、透析導入の原因、糖尿病の有無、手術日、血管内治療日、病変部位、治療内容、治療転帰（手技成功、合併症、開存の有無、再手術の有無）

【個人情報の取扱い】

利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除され、代わりに新しく符号がつけられます(匿名化)。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、担当者が厳重に保管いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

【研究機関】

沖縄県立中部病院

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　放射線科　東浦　渉

電話　098-973-4111（内線2494）　FAX　098-974-2165